

愛する海でアップサイクルするアート!プロジェクト

人文学部教育学科3年
リーダー 石丸
副リーダー 神後
メンバー 森川・上田・信岡・藤井・見玉・栢原
担当教員 山川肖美



目次

- 一年間の流れ
- プロジェクトのきっかけ・熟議
- 現地調査や協力して下さった方々との話し合い
- まるくる大野での講座の手伝い
- プレ海岸清掃の様子
- 本番一日目・二日目
- 成果と課題と展望



お世話になった方々

- ・松本雅知様(フジタスクエアまるくる大野 子育てセンター)
- ・松尾和政様(廿日市市大野支所支所長)
- ・吉本卓生様(特定非営利活動法人キッズNPO理事長)
- ・小林大佑様(フジタスクエアまるくる大野統括責任者)
- ・田中博之様(国立研究開発機構水産研究・教育機構フェロー)

本当にありがとうございました!

1年間の流れ

6月 熟議

7月 フジタスクエアまるくる大野と宮島の視察・話し合い

8月 現地調査・話し合い
まるくるで開催された講座の手伝い
プレ海岸清掃、プレ創作活動
本番海岸清掃

9月 本番創作活動



プロジェクトのきっかけ

💡 海洋ごみ問題に着目

💡 地域全体(特に子供)が当事者意識を持つために
アップサイクルでアート活動を

熟議について

★プロジェクトについて内容を明確にする

- ・イベント内容の明確化
(海岸で素材集め、作品内容の精査)
- ・子ども達だけでなく親にとっても新たな発見が生まれるようなイベント作り

プロジェクトのきっかけ

子ども達の創作の楽しさを担保
+
海洋ごみ問題についての意識づけ
+
新しい価値を創造する力の育成
↓
『海でアップサイクルするアート』

現地調査

現地でいったこと

- 工場を見学
- 工場の人としゃもじや廃材について聞く



現地調査 宮島 包ヶ浦海岸

現地で行ったこと

- 宮島の包ヶ浦海岸で
ごみの様子をチェック
→細かいものが多く落ちていた
カキの養殖用パイプの切れ端
- 制作に使える貝殻も収集



↑宮島 包ヶ浦海岸



↑カキの養殖用パイプの切れ端

国立研究開発法人水産研究・教育機構

廿日市市役所の方々との話し合い

・子供たちに教えるにはまず自分たちが
知って理解しておくことが必要!

・海洋ゴミの流れる仕組みなども知るこ
とで日々の生活から変えていく姿勢が
育てられる!



話し合いの様子

まるくる大野での講座のお手伝い

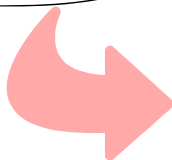
7月30日 日本文化茶道を楽しむ

7月31日 日本舞踊を楽しむ

一回きりのイベントでは
受け取り手と距離があり
伝わるものも伝わりづらくなる、



まるくるでのイベントに
参加することで地域の
一員になる!



講座の手伝いを行ってみて、...

・日本舞踊の所作やお茶をたてる体験をする中で大野
地域の子供たちと関わり、特性を知り企画に活かし
た。



なぜ、プレ活動を行ったの?

- イベント当日は、夏
→子供たちの体調面を考慮する必要がある。

- どのくらいの時間でどのくらいのゴミが拾えるのか
→ゴミの量は足りるのかなどを確認
まずは自分たちで試してみる!



8月10日

本番に向けたプレ海岸清掃



・本番に向けて実際に考えた時間と
拾い方で海岸清掃を行いました!

・海岸に落ちているゴミの種類や量な
ども考慮しながら何が足りないのか考え
修正を行いました!



実際に海岸清掃を行っての気づき・改善点

- 45分ほどの海岸清掃でかなりの疲労感
→1時間程度の設定から30分ほどに修正

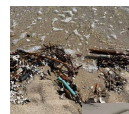
- 岩場には牡蠣殻や木の近くには蜂
→海岸清掃のルートの変更
付き添う学生の数の変更



8月17日

本番に向けた制作のプレ活動

- 杓子工場から譲り受けた廃材と
10日に拾い集めたごみを使用し、
どんなものが作れるか相談・各自試作



実際に試作してみたの気づき・改善点

- 何を作るのかに時間がかかったため作成に時間が割けなかった
→**テーマ**をあらかじめ決めておく
- 2時間ほどの活動→集中力の途切れ
イベントの対象は小学校低学年がほとんど
→**適度な休憩**を入れながらの活動が必要



・本番一日目清掃活動

- ・まるくるの学童保育の子供数人を連れ、鳴川海岸に行き、講師の先生の説明を受けながら海岸清掃を行った。



・本番一日目オリエンテーション

- ・講師の先生を呼び、まるくるの学童保育の子供たちと一緒に、**海洋ごみにはどのような種類があるのかや広島の海にはどのようなごみが多いのか**について学んだ。



・本番2日目 アート活動

海洋ゴミを用いた創作活動



海洋問題を身近に捉え創作活動の楽しさを体験



制作中、、、

作ったものをまるくるで飾らせていただきました!



プロジェクトの成果

- ・参加者
 - 子ども目線からの地域(大野地域)を捉えることができた
 - 創作意欲の向上(活動中の子供たち声から)
- ・地域
 - 多世代活動交流センターとしての利用拡大
 - 地域力の向上



・学生

- 実践的な教育経験**を積むことができた
- 協働相手としての**大人の存在**
- 企画立案から実施にいたるプロセスのなかでの**個人的成長**



課題解決の方向性

- ・プロジェクトの課題
 - メンバー間・連携先・協力先との**情報共有の難しさ**
 - 活動後のアンケート調査をしなかったこと
→ものとして残る形で子供たちの声や地域への貢献度などを測ることが出来ない
→活動全体をまとめたり、次につなげることができない
- ・解決方法の方向性
 - 参加者・実施後アンケート調査の充実
 - 親子参加型へのアップグレード



ご清聴ありがとうございました!



愛する海でアップサイクルするアート!プロジェクト